

## 会合議事録

研究会名：原子分子の内殻励起および軟X線技術研究会

日 時：2008年10月31日（金）

場 所：東京国際交流会館メディアホール

出席者：齊藤 則夫（産総研）、福澤 宏宣（東北大）、渡部 力（電通大）、鈴木 功（PF）、為則 雄祐（JASRI）、樋口（JASRI）、金島岳（大阪大）、下條 竜夫（兵庫県立大）

議題：ICESS サテライト会議を研究会が主体となり開催するかを検討、今後の研究会の日程の検討およびBL27SUの最近の動向に関する情報交換

議事内容：

1) 2009年10月に奈良で ICESS という国際会議が開催される。この国際会議では、数々の内殻励起の海外研究者が参加することから、研究会が主体になり、サテライトミーティングを行ってはどうかという提案があり、それについて検討した。

その結果、①仙台で別のサテライトミーティングがあること、②SRIという国際会議がICESSの直前までメルボルンで開催されているということ、③ちょうどケイロンスクールとユーザータイムがあることから、ビームライン関係者が対応できないことの3つの理由から今回は開催を見送ることになった。

2) BL27SUの立ち上げ時の関係者である、石黒琉球大教授、田中健一郎広大教授、奥山阪大教授の三人が退官されることから、それにあわせ研究会を3月にSPring-8で開催することになった。また、BL27SUのアンジュレーターである Figure8 型の引用論文が100本を越えたことから、これのお祝いもすることになった。

3) BL27SUの担当者の為則氏から、最近のBL27SUの状況について報告があった。

①オゾン洗浄により炭素付近の強度があがった

②三枚のミラーを高次光の除去として設置した。70%程度に強度が落ちるが、高次光はほとんどゼロになった。

以上